

共通講義「地球の進化」を受けて

教育地域科学部 地域環境コース2年 梨木 優

時間割を決めるときに「地球の進化」を選んだのは、受けられる人数が多いことと地球の進化ということで、恐竜だとか原始人について学ぶものだったからでした。しかし、いざ講義がはじまってみると、科学の授業をうけているような感じで、高校の時に文系だったこともあり、あまり科学が得意でなかった私にとっては、難しい内容の講義でした。講義内では担当教員の服部先生から質問されることもあり、あてられても答えられないことが多かったように思います。講義が後半になるにつれて、話も科学から地球の環境問題など広範囲にわたるようになりました。はじめに期待していたような、恐竜などのはなしはほとんどでありませんでしたが、これからのことを考えさせられる講義であったように思います。

出席は学生証をとるだけでしたが、講義中に服部先生の質問であてられた時にいないときは欠席あつかいということでした。1回の講義であてられる人数が多いので、ほとんど先生が出席をとっているようなものだったように思います。講義は大講義室でおこなわれていましたが、120人ちかくの人がうけることもあって、少しでも授業におくれていくと、座る場所を探すのに苦労しました。月曜の1限ということもあり、起きるのがつらかったですができることなら少し早めについておくことをおすすめします。

テストについてですが、私の時は2問出題されました。この問題のうち1問は授業中に答えを発表したということでしたが、私が休んだときに説明されたのか、私にはわかりませんでした。ノートの持ち込みはありのテストなので、毎回授業に出て、しっかりノートをとってればできた問題でした。もう1問は、自分の考えを書くような問題でしたが、これもノートにとったことを参考にして考える問題でした。ノートを見ながらとけるので、他のテストに比べてとりくみやすいものでした。

この講義はちゃんと出席してノートさえしっかり取れば、いい評価が得られる講義だと思うので、まだ受講していない人にはおすすめの講義です。